

# 子どもの習い事の現状

## －性、年齢、居住地域との関連－

久 本 信 子  
三 笠 友紀恵  
金 築 優 子

### I. 目的

「近頃の子どもは忙しい」と言われて久しい。この「忙しい子ども」とは、もともと小学生を対象に使われていた。しかし、今日それは幼児も含めて使われ、定着している。そして子どもの忙しい生活の一翼を、習い事が担っていることは間違いないであろう。現在、習い事は多様化し、子どもの生活の中に深く入り込んでいると思われる。

我々は、幼児を対象とした「子どものあそび環境」を、1982年から調査してきた。そして、子どものあそび時間や生活時間に影響を与えられる習い事の有無や回数を、幼児のあそびの現状を知るための項目として取り上げてきた。今回は、習い事の有無や回数だけでなく、習い事の種類（運動系・非運動系）や動機等について分析し、習い事と「性」「年齢」「居住地域」の関連について検討したい。

本研究は、1982年、1996年、2001年に同様の内容で実施したアンケート調査結果を時系列で比較する。そして、習い事の変化と現状を把握するとともに、調査データを提示することをねらいとする。

### II. 調査方法

調査期日 第1回調査1982年7月中旬

第2回調査1996年7月中旬

第3回調査2001年7月中旬

調査対象 第1回調査 3歳～6歳の幼稚園児 661名（男－347名 女－314名）

第2回調査 3歳～6歳の幼稚園児 1053名（男－518名 女－535名）

第3回調査 3歳～6歳の幼稚園児 812名（男－373名 女－439名）

各年度の地域別および年齢別の実数

地域 \ 年度・年齢	年 度	年長児	年中児	年少児
住 宅 地 域	1982年	200	134	42
	1996年	122	121	82
	2001年	115	107	101
都市中心部地域	1982年	134	128	23
	1996年	173	126	108
	2001年	122	98	115
都市周辺部地域	1982年	0	0	0
	1996年	162	159	0
	2001年	64	90	0

## 調査地域の概要

住宅地域—大都市の通勤圏にある中小都市の住宅地域

都市中心部地域—商業、住宅混在地域

都市周辺部地域—田畑が残っている地域

各年度において対象とした幼稚園は、第1回目は4園、第2回目は11園、第3回目は6園である。1回から3回まで連続して調査したのは3園である。その他の園も上記の地域の条件に当てはまる幼稚園を選定した。

調査方法 質問紙法 幼稚園を經由して、園児の保護者に回答を依頼

有効回収率：第1回調査83%、第2回調査82%、第3回調査77%

## 調査内容

調査項目 問1、地域のあそび環境 問2、よくあそぶ場所は 問3、よくあそぶ相手は  
問4、活動的なあそびについて 問5、あそび内容について  
問6、あそびの種目 問7、戸外あそびの時間 問8、戸外あそびの仲間の数  
問9、戸外あそびの仲間の性別 問10、戸外あそびの仲間の状況  
問11、戸外あそびからの帰宅時間 問12、テレビ視聴時間  
問13、テレビ視聴時間帯 問14、習いごとについて  
問15、子どものからだの調査

\*上記の質問の選択肢より「問14、習いごとについて」の項目を分析した。

## 質問内容

問 1 4	習いごとについて（おけいごと）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・習いごとをしている方だけお答えください</li> <li>・習いごとの種類に対して、回数、時間、動機および目的を番号でご回答ください</li> </ul>			
<p>&lt;種類&gt; 1. ピアノ 2. バイオリン 3. バレエ 4. 絵  5. 英語 6. 学習塾 7. 水泳 8. 体操 9. ダンス  10. 空手 11. 柔道 12. その他（ ）</p>			
<p>&lt;回数&gt; (ひとつだけ)  13. 週1回 14. 週2回 15. 週3回 16. 週4回  17. 月1回 18. 月2回 19. 月3回 20. その他（ ）</p>			
<p>&lt;1回についての時間&gt; (ひとつだけ)  21. 30分 22. 1時間 23. 1時間30分 24. 2時間</p>			
<p>&lt;動機および目的&gt; (5項目以内)  25. 健康のため 26. 体力作り 27. 学校に役立つ 28. しつけ  29. 集中力をつける 30. 忍耐力をつける 31. 礼儀をつける  32. 集団生活になれさせる 33. 技術を身につける  34. 友達が行っているから 35. 本人が行きたがったから  36. その他（ ）</p>			
回答			
(1-12)	(13-20)	(21-24)	(25-36)
<種類>	<回数>	<1回についての時間>	<動機および目的>
( ) →	( ) ( )	( )	( )
( ) →	( ) ( )	( )	( )
( ) →	( ) ( )	( )	( )
( ) →	( ) ( )	( )	( )
( ) →	( ) ( )	( )	( )
( ) →	( ) ( )	( )	( )
( ) →	( ) ( )	( )	( )

## 調査項目の分析方法

## 手順

- ・問14の調査項目のみ、全体、性別、年齢別、地域別に調査年ごとに比較検討した。
- ・カイ2乗検定を使用。危険率は表中の項目に付記した。

### Ⅲ. 調査結果および考察

※表（1～7）の中で、サンプル数が少なく数値に偏りの可能性がある項目については□で示した。

#### 1. 習い事有の推移（表-1 参照）

1982年（以下82年と記述）、1996年（以下96年と記述）、2001年（以下01年と記述）で比較すると、習い事をしている子どもは近年になるとともに増加している。しかし、82年から96年は急激に増加しているが、96年から01年の間では差はほとんど見られない。性別では、どの調査年度でも女子の方が男子より習い事をしている割合は高い。男女別に推移を見ると、女子は近年になるとともに習い事をしている割合は増加するが、男子は96年より01年の方が減少した。年齢別に見ると、どの調査年度においても、年齢の上昇とともに習い事をする割合は高くなっている。他方、年少、年中、年長児を個々に見ると、年中・年長児は近年になるとともに習い事をする割合が高くなる傾向が見られた。しかし、年少児については96年が最も高く、01年には減少しているため、年中・年長児のような傾向は見られない。また、82年と96年を比較すると、習い事をする子どもが急激に増加している。このことは習い事の低年齢化を示すと思われる。

地域別に96年と01年を比較すると、3地域の中で習い事をしている子どもは、住宅地域が最も多い。都市中心部と都市周辺部間では、あまり差は見られなかった。性別で見ると、男女とも住宅地域は習い事をする割合が高い。また、他の地域に比べて男女差はなくなる傾向を示している。さらに都市中心部男子を見ると、96年より01年の割合が大きく減少している。

年齢別に見ると、地域に関わらず96年、01年の両年には年齢の上昇とともに習い事をしている子どもは増加している。また、住宅地域年少児と都市中心部年少児には、96年より01年の割合が減少している。

82年、96年、01年で習い事を比較した場合、96年を頂点に両端は低い傾向が多く見られた。このような現象が現れた原因として、1990年以降に到来した早期教育ブームを考えることができる。「3歳からでは遅すぎる」等を始めとした様々なうたい文句がメディアや雑誌を賑わせた。しかし、1998年頃から変化が見られ、早期教育は一時のブームほどの盛況ぶりは見られなくなっている。早期教育のブームが96年の習い事に影響を与え、96年の数値が01年より高くなっていると言えるであろう。そして、その影響を一番受けているのが、男子、年少児、特に都市中心部の男子ではないだろうか。

表－1 習い事有りの推多

## 全 体

	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001
有	48%	42%	54%	15%	37%	63%	1982
	61%	60%	63%	48%	58%	70%	1996
	62%	56%	67%	44%	61%	77%	2001
	全体	男子	女子	年少	年中	年長	

## 地域別

## 習い事有 (地域×性)

	住宅地域			都市中心部地域			都市周辺部地域			住宅地域			都市中心部地域			都市周辺部地域		
	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	
有	58%	35%	52%	75%	57%	53%	64%	76%	74%	31%	41%	55%	58%	47%	59%	1982		
	75%	57%	53%	76%	74%	73%	55%	58%	47%	59%	60%	1996						
	73%	56%	54%	72%	73%	45%	65%	47%	60%	2001								
	全体			男子			女子			男子			女子					

## 習い事有 (地域×年齢)

	住宅地域			都市中心部地域			都市周辺部地域		
	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001	1982:1996:2001
有	10%	47%	76%	26%	27%	45%	45%	60%	1982
	56%	74%	89%	42%	60%	65%	45%	60%	1996
	51%	78%	87%	37%	57%	75%	45%	64%	2001
	年少	年中	年長	年少	年中	年長	年中	年長	

## 2、習い事の回数 (表－2 参照)

どの調査年度でも週1回の習い事が最も多い。ついで週2回、週3回、週4回の順位となり、週4回以上が占める割合は全体の1割に満たない。週2回以上で習い事の回数が多い年は、96年、01年、82年の順位であった。回数は96年までは増加し、01年には減少している。性別で見ると、回数における性差はあまり見られなかった。年齢別に見ると、どの調査年度でも年齢とともに週1回の習い事の回数は減少している。週3回以上で見ると、年齢とともに習い事の回数が増加しているのは、96年のみに見られた。また年少、年中、年長児を個々に見ると、年長児は01年には96年の34%から10ポイント減少している。

地域別に96年と01年を比較すると、3地域の中で習い事の回数が最も多いのは住宅地域であった。都市中心部と都市周辺部間を比較すると、週2回以上習い事をしている割合に両者間の差はあまり見られない。しかし、週3回以上では、都市中心部の方が回数の多い傾向を示していた。このことから、習い事の回数の多いのは、住宅地域、都市中心部、都市周辺部と順位づけができるであろう。性別を見ると、週3回以上習い事をしている男子は、96年、01年とも住宅地域が最も多く、ついで、都市中心部、都市周辺部の順である。そして、都市中心部男子には近年になるとともに割合が増加する傾向が見られた。それに対し、都市周辺部男子は、01年

は減少している。また、住宅地域の男子は01年には96年の38%から12ポイント減少している。全体の示す増減を考えるとこの減少は大きい。これは早期教育のブームに影響されていると思われる。女子についても男子同様、96年01年ともに住宅地域が最も多く、都市中心部、都市周辺部の順であった。同一地域内で男女を比較すると、96年、01年における週3回以上の割合は、都市中心部、都市周辺部の男子が女子より高い。

年齢別に見ると、週3回以上習い事をしている子どもの割合は、96年はすべての地域において、年齢とともに高くなっている。しかし、01年では住宅地域のみがこの傾向が見られた。年少、年中、年長児ごとに見ると、都市中心部年中児のみ、近年になるとともに回数が増加していた。また、96年より01年が減少したのは住宅地域と住宅地域年長児、都市中心部年長児に見られた。

### 3、習い事の種類数（表-3参照）

どの調査年度でも1種類の習い事が最も多く、ついで2種類、3種類、4種類の順位となった。4種類以上が占める割合は全体の2%にすぎない。2種類以上の多い年は、96年、01年、82年の順位であった。種類数は82年から96年までは増加し、01年には減少している。性差で見ると、3種類以上習い事をしている子どもは女子の方が多い。そして、女子は01年ほどその割合は高くなる傾向が見られた。年齢別に見ると、どの調査年度でも年齢の上昇とともに1種類だけの習い事は減少している。3種類以上ではどの調査年度でも年齢の上昇とともにその割合は増加している。

地域で見ると、96年、01年は、住宅地域は他の地域に比べ、3種類以上習い事をしている割合が高い。ついで都市中心部、都市周辺部の順位である。性別で見ると、週3回以上習い事をしている男子は、96年、01年とも住宅地域が最も多く、都市中心部、都市周辺部の順であった。女子についてはどの調査年度でも住宅地域が最も高く、都市中心部、都市周辺部の順になっている。同一地域内で男女を比較すると、住宅地域はどの調査年度でも3種類以上は女子に高い。都市中心部、都市周辺部ではあまり性差は見られなかった。

年齢別に見ると、3種類以上習い事をしている割合は、96年、01年とも、年齢とともに高くなっている。年少、年中、年長児ごとに見ると、都市中心部年中児のみ、近年になるとともに種類数の割合が増加している。また、96年より01年が大きく減少したのは住宅地域年長児に見られた。

表-2 習い事の回数

全体

	1982:1996:2001			1982:1996:2001			1982:1996:2001			1982:1996:2001			1982:1996:2001					
	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001			
1回	55%	45%	50%	55%	43%	46%	56%	47%	52%	—	63%	60%	65%	49%	53%	49%	37%	43%
2回	26%	31%	30%	29%	31%	32%	25%	30%	28%	—	31%	20%	28%	32%	30%	27%	29%	33%
3回	11%	16%	14%	9%	17%	11%	13%	16%	16%	—	3%	13%	4%	13%	9%	14%	22%	18%
4回以上	7%	8%	7%	7%	9%	11%	7%	7%	4%	—	2%	6%	3%	6%	8%	9%	12%	6%
	全体			男子			女子			年少 P<0.05			年中			年長 P<0.05		

地域別

習い事の回数 (地域×性)

	住宅地域			都市中心部地域			都市周辺部地域			住宅地域			都市中心部地域			都市周辺部地域								
	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1996	2001	1996	2001		
1回	48%	33%	44%	71%	53%	54%	51%	54%	54%	44%	34%	48%	51%	32%	40%	77%	50%	44%	65%	55%	60%	48%	42%	63%
2回	29%	29%	28%	21%	30%	28%	34%	39%	39%	35%	28%	25%	24%	30%	30%	15%	30%	34%	27%	29%	25%	37%	48%	33%
3回	14%	24%	18%	4%	13%	13%	10%	5%	5%	11%	25%	12%	17%	23%	24%	4%	15%	13%	4%	11%	12%	7%	6%	4%
4回以上	9%	13%	10%	4%	5%	5%	5%	1%	1%	9%	13%	14%	8%	14%	6%	4%	5%	10%	4%	5%	3%	8%	3%	0%
	全体						男子			女子			男子			女子								

習い事の回数 (地域×年齢)

	住宅地域						都市中心部地域						都市周辺部地域									
	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1996	2001	1996	2001			
1回	—	50%	60%	56%	37%	49%	44%	23%	32%	—	77%	63%	82%	55%	50%	62%	42%	53%	58%	65%	46%	45%
2回	—	39%	23%	33%	33%	26%	28%	22%	31%	—	23%	17%	18%	30%	34%	25%	32%	29%	32%	33%	35%	47%
3回	—	7%	11%	6%	20%	12%	17%	35%	27%	—	0%	14%	0%	12%	8%	7%	18%	14%	6%	3%	13%	5%
4回以上	—	4%	6%	5%	10%	12%	11%	20%	10%	—	0%	6%	0%	3%	8%	7%	8%	3%	4%	0%	6%	3%
	年少		年中		年長		年少		年中		年長		年中		年長							

表-3 習い事の種類数

全体

	1982:1996:2001			1982:1996:2001			1982:1996:2001			1982:1996:2001									
	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001							
1種類	70%	53%	58%	74%	56%	59%	66%	51%	57%	—	70%	64%	86%	56%	59%	62%	45%	53%	1982
2種類	22%	31%	30%	20%	30%	30%	24%	33%	29%	—	19%	23%	11%	32%	29%	27%	34%	32%	1982
3種類	6%	13%	10%	5%	12%	8%	8%	13%	13%	—	3%	9%	3%	10%	8%	8%	18%	13%	1982
4種類以上	2%	2%	2%	1%	2%	4%	1%	2%	4%	—	1%	0%	0%	2%	3%	2%	3%	3%	1982
	全体 P<0.01			男子 P<0.05			女子			年少			年中 P<0.05			年長			

地域別

習い事の数 (地域×性)

	住宅地域			都市中心部地域			都市周辺部地域			住宅地域			都市中心部地域			都市周辺部地域							
	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001		1996	2001	1996	2001
1種類	63%	39%	49%	84%	59%	62%	68%	41%	50%	60%	37%	47%	88%	59%	62%	81%	60%	63%	79%	79%	57%	69%	1982
2種類	26%	36%	34%	13%	30%	28%	25%	38%	35%	27%	35%	33%	8%	30%	27%	17%	30%	28%	16%	18%	35%	25%	1982
3種類	8%	20%	15%	3%	9%	7%	5%	17%	11%	10%	23%	19%	4%	12%	5%	2%	7%	9%	5%	3%	8%	6%	1982
4種類以上	3%	5%	3%	0%	2%	3%	2%	5%	4%	3%	5%	2%	0%	0%	6%	0%	3%	1%	0%	0%	0%	0%	1982
	全体						男子			女子			男子			女子			男子		女子		

習い事の回数 (地域×年齢)

	住宅地域			都市中心部地域			都市周辺部地域																
	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001		1996	2001	1996	2001									
1種類	—	70%	67%	81%	41%	51%	56%	24%	37%	—	84%	69%	94%	61%	57%	77%	48%	63%	69%	80%	64%	68%	1982
2種類	—	22%	23%	14%	39%	35%	31%	40%	38%	—	16%	24%	6%	29%	29%	18%	36%	29%	26%	18%	27%	27%	1982
3種類	—	7%	10%	5%	16%	11%	9%	29%	21%	—	0%	7%	0%	8%	9%	5%	13%	7%	4%	3%	9%	5%	1982
4種類以上	—	2%	0%	0%	4%	4%	4%	6%	3%	—	0%	0%	0%	1%	5%	0%	3%	2%	0%	0%	0%	0%	1982
	年少			年中			年長			年少			年中			年長			年中		年長		



## 4、習い事の区分（表－4 参照）

習い事の種類から、運動系の種目のみを習っている（以下運動系と記述）、非運動系の種目のみを習っている（非運動系と記述）、運動系・非運動系をともに習っている（以下両方と記述）で3区分した。

96年は運動系、非運動系、両方の割合は同じであるが、82年、01年はともに非運動系のみが最も多く、次いで運動系、両方の順位となる。運動系、両方、非運動系を個々に見ると、非運動系は82年が最も多く、01年、96年の順になっている。両方は96年が最も多く、01年、82年の順であった。運動系にはこのような順位はない。このことから、82年は非運動系のみ習い事をしてきた子どもが、96年には運動系の習い事もするようになったと言えるであろう。性別で見ると、どの調査年度でも運動系のみ習い事は男子に多く、女子は非運動系のみ習い事が多い。年齢別に見ると、両方の習い事をする子どもは96年、01年とも年齢とともに増加している。96年の運動系のみ、01年の非運動系のみは、年齢とともに減少する。年少、年中、年長を個々に見ると、運動系年長児にのみ、近年になるとともに増加する傾向が見られた。また、96年より01年が大きく減少したのは、運動系のみ年少児、両方している年長児であった。

表－4 習い事の区分

全 体

	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	
運動系のみ	33%			42%			26%			—			54%			22%			1982
		33%			49%			19%			50%			34%			28%		1996
			33%			42%			26%			33%			35%			31%	2001
両方	25%			23%			26%			—			11%			31%			1982
		34%			30%			37%			14%			31%			41%		1996
			28%			30%			27%			23%			26%			31%	2001
非運動系のみ	42%			35%			48%			—			35%			47%			1982
		34%			21%			45%			36%			35%			32%		1996
			39%			29%			46%			43%			39%			38%	2001
	全体			男子			女子			年少			年中 P < 0.01			年長 P < 0.05			

## 5、習い事の種類（表－5 参照）

習い事の種類の中で、人気の高い種目としてはつぎの7種目にまとめることができよう。

非運動系：ピアノ・エレクトーン等《以下ピアノと記述》、習字（硬筆）・算盤等《以下習字と記述》、学習塾（公文・算数等）《以下学習塾と記述》、語学（英語・中国語）《以下語学と記述》

運動系：水泳、体操、ダンス（バレエ・ミュージカル等）《以下ダンスと記述》

最も人気の高い種目として非運動系ではピアノ、運動系では水泳が挙げられる。どの年でもこれら2種目の順位は1位である。しかし、非運動系は種目の増減が大きく、それに対して運動系には大きな変化は見られない。

非運動系の種類を時系列で見ると、82年はピアノ、習字、学習、語学の順位であった。しかし、96年以降、学習塾、語学が2位3位に浮上し、習字は4位に後退した。また、ピアノ、習字は01年になるほど下降する傾向を示し、学習塾、語学は上昇する傾向が見られる。特に、01年には語学の伸びが著しい。運動系を時系列で見ると、どの調査年度でも水泳、体操、ダンスの順位であった。ダンスは、01年ほど人気は上昇する傾向が見られる。性別で非運動系を見ると、どの調査年度でも女子はピアノが1位であるが、男子は01年から1位2位を語学、学習塾が占めるようになっている。運動系では、ダンスは女子に多く見られ、男子はほとんどいない。年齢別に非運動系を見ると、年齢に関わらずピアノは人気の高い種目である。しかし、01年における年少児の語学はピアノよりも人気が高く、4割に近い。運動系では年齢に関わらず、水泳は人気が高い。そして、年中・年長児では、割合は低いものの武道が浮上する。

地域別では、非運動系、運動系ともに地域による差はあまり見られない。しかし、住宅地域では語学、都市周辺部の習字や武道の割合の高さが、他の地域には見られない特色として挙げることができるであろう。

性別で見ると、非運動系では住宅地域男子、都市中心部男子ともに96年1位は学習塾、01年1位は語学になっている。それに対し、都市周辺部男子は、両年とも、ピアノが1位を占めている。運動系では96年ではどの地域の男子も1位水泳、2位体操の順位であった。しかし、01年の都市周辺男子は2位が武道に替わっている。女子の非運動系を見ると、どの地域の女子も96年、01年ともに1位はピアノが占め、地域による差は見られない。しかし、語学や習字の種目から見ると、語学の割合は住宅地域、都市中心部、都市周辺の順で高い。また習字は都市周辺部が最も高く、住宅地域、都市中心部ではほとんど見られなかった。

年齢別で見ると、全体的には地域や年齢に関わらず非運動系ではピアノ、運動系では水泳の習い事が多い。しかし、住宅地域では01年に年少、年中児において語学がピアノを上回り、ピアノ離れが起こっている。これは近年、国際化という流れを背景に、英語を主とした幼児教室も数多く開かれ、メディアも多く取り上げている。また、語学は年少の子どもほどスムーズに身に付きやすいとも言われているからではないだろうか。そしてさらに、「習い事有の推移」で述べたように、住宅地域は他の地域に比べ習い事への関心が高く、男女差も他の地域に比べてなくなる傾向が見られる。このことから、住宅地域の年少、年中児の女子は女子に人気のあるピアノではなく、語学を選択するようになってきているのではないだろうか。また、運動系では年齢の上昇とともに、体操の占める割合が高くなる。都市部中心では年少児のみ01年は語学がピアノを上回っていた。運動系では年齢による差はあまり見られない。都市周辺部では、96年、01年とも年中、年長児はピアノが最も多い。そして、年長児において、習字の占める割合が他の地域に比べて高い。運動系では、年長児に武道の割合が高くなる。01年には特に伸びており、他の地域に比べて差が大きい。

表-5 習い事の種類（複数回答）

全 体

	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	
ピアノ・エレクトーン等	42%	36%	28%	21%	19%	12%	60%	52%	39%	—	18%	18%	33%	36%	28%	48%	42%	31%	1982
絵	9%	4%	5%	12%	4%	3%	6%	5%	5%	—	1%	2%	4%	6%	3%	10%	4%	6%	1982
習字（硬筆・算盤等）	12%	9%	4%	12%	5%	2%	11%	13%	4%	—	0%	1%	2%	6%	1%	17%	14%	6%	1982
伝統芸能（日舞・能楽・琴等）	1%	1%	0%	0%	0%	0%	2%	1%	0%	—	1%	0%	2%	1%	0%	1%	0%	0%	1982
音楽リズム系（リトミック等）	1%	1%	3%	1%	1%	1%	0%	1%	3%	—	1%	9%	1%	3%	2%	0%	0%	0%	1982
バイオリン・ギター等	1%	1%	1%	1%	2%	0%	1%	0%	1%	—	1%	1%	1%	1%	1%	1%	2%	0%	1982
学習塾（公文・算数等）	6%	17%	18%	10%	19%	21%	3%	15%	15%	—	16%	12%	3%	14%	14%	8%	19%	23%	1982
語学（英語・中国語等）	3%	10%	27%	3%	10%	30%	3%	11%	25%	—	11%	34%	1%	10%	31%	4%	10%	20%	1982
頭脳開発（右脳トレーニング等）	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	—	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	1982
幼児教室	2%	5%	2%	2%	5%	3%	2%	4%	1%	—	10%	1%	0%	5%	2%	3%	3%	2%	1982
その他非運動系	1%	0%	2%	0%	0%	1%	1%	0%	2%	—	0%	1%	1%	0%	2%	0%	0%	1%	1982
水泳	42%	41%	38%	47%	53%	47%	37%	31%	32%	—	43%	40%	43%	37%	39%	40%	43%	36%	1982
体操	15%	20%	14%	20%	30%	21%	12%	10%	10%	—	13%	11%	21%	20%	17%	13%	21%	13%	1982
サッカー	0%	1%	1%	1%	1%	3%	0%	0%	0%	—	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	3%	1982
武道	0%	2%	3%	0%	4%	6%	0%	1%	1%	—	0%	0%	0%	2%	2%	0%	3%	6%	1982
ダンス（バレエ・ミュージカル等）	2%	9%	10%	0%	0%	1%	4%	17%	17%	—	11%	9%	1%	11%	10%	2%	7%	11%	1982
その他（運動系）	2%	1%	2%	1%	1%	4%	3%	2%	1%	—	0%	2%	2%	1%	1%	2%	2%	3%	1982
		全体			男子			女子			年少			年中			年長		

地域別

習い事の種類 (地域×性)

	住宅地域			都市中心部地域			住宅地域			都市中心部地域			都市周辺部地域								
	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001						
ピアノ・エレキ・トーン等	50%	35%	25%	24%	34%	28%	28%	22%	12%	69%	50%	37%	8%	16%	10%	38%	49%	38%	19%	58%	46%
絵	7%	5%	4%	11%	4%	7%	10%	5%	5%	5%	6%	3%	15%	4%	2%	8%	5%	9%	1%	3%	2%
習字(硬筆・算盤等)	8%	7%	3%	20%	9%	2%	6%	6%	4%	9%	7%	2%	25%	4%	0%	15%	13%	3%	5%	20%	13%
伝統芸能(日舞・能楽・琴等)	1%	0%	0%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	4%	2%	0%	0%	0%	2%
音楽リズム系(リトミック等)	1%	0%	0%	0%	3%	7%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	5%	0%	4%	8%	0%	0%	0%
バイオリン・ギター等	1%	2%	0%	1%	1%	1%	1%	4%	0%	2%	0%	1%	2%	1%	2%	0%	1%	1%	1%	0%	0%
学習塾(公文・算数等)	8%	26%	21%	2%	16%	20%	12%	28%	23%	4%	24%	20%	4%	19%	27%	0%	13%	16%	5%	7%	0%
語学(英語・中国語等)	4%	15%	36%	2%	8%	20%	5%	11%	37%	3%	19%	36%	0%	8%	27%	4%	8%	16%	10%	6%	17%
頭脳開発(右脳トレーニング等)	0%	1%	0%	0%	1%	0%	0%	1%	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%
幼児教室	3%	11%	0%	0%	1%	4%	3%	11%	1%	3%	12%	0%	0%	1%	6%	0%	1%	3%	1%	0%	3%
その他非運動系	1%	0%	3%	0%	0%	1%	0%	1%	3%	2%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	0%	0%	0%
水泳	45%	35%	33%	36%	47%	42%	53%	43%	37%	38%	26%	30%	35%	61%	60%	37%	36%	34%	59%	28%	56%
体操	15%	33%	23%	17%	11%	6%	18%	45%	33%	12%	21%	14%	23%	20%	10%	12%	4%	4%	16%	7%	3%
サッカー	0%	1%	3%	1%	0%	0%	0%	2%	5%	0%	0%	0%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	3%
武道	0%	2%	2%	0%	3%	3%	0%	3%	4%	0%	0%	0%	0%	5%	5%	0%	1%	2%	5%	1%	18%
ダンス(バレエ・ミュージカル等)	3%	15%	14%	0%	4%	8%	0%	0%	0%	5%	31%	25%	0%	0%	3%	0%	7%	10%	0%	15%	0%
その他(運動系)	2%	1%	4%	2%	3%	1%	1%	0%	6%	3%	2%	2%	2%	3%	2%	2%	2%	1%	0%	1%	0%
	全体						男子			女子			男子			女子					

## 習い事の種類（地域・年齢）

	住宅地域						都市中心部地域						都市周辺部地域						
	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1996	2001	1996	2001
ピアノ・エレクトーン等	—	20%	—	40%	—	—	55%	—	—	—	21%	—	28%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	33%	—	43%	—	—	16%	—	—	36%	—	—	40%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	22%	30%	—	—	—	13%	—	32%	—	—	32%	—	—	2001
絵	—	0%	—	2%	—	—	10%	—	—	—	9%	—	12%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	9%	—	5%	—	—	2%	—	—	5%	—	—	4%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	2%	4%	—	—	—	3%	—	4%	—	—	10%	—	—	2001
習字（硬筆・算盤等）	—	0%	—	2%	—	—	11%	—	—	—	3%	—	32%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	5%	—	11%	—	—	0%	—	—	7%	—	—	14%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	0%	6%	—	—	—	0%	—	2%	—	—	3%	—	—	2001
伝統芸能（日舞・能楽・琴等）	—	2%	—	2%	—	—	1%	—	—	—	3%	—	2%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	0%	—	0%	—	—	0%	—	—	3%	—	—	1%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	0%	0%	—	—	0%	—	—	0%	—	—	0%	—	—	2001
音楽リズム系（リトミック等）	—	0%	—	2%	—	—	1%	—	—	—	0%	—	0%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	1%	—	0%	—	—	—	2%	—	7%	—	—	1%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	0%	0%	—	—	—	21%	—	7%	—	—	1%	—	—	2001
バイオリン・ギター等	—	2%	—	2%	—	—	1%	—	—	—	0%	—	2%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	0%	—	4%	—	—	0%	—	—	3%	—	—	0%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	0%	0%	—	—	0%	—	—	2%	—	—	1%	—	—	2001
学習塾（公文・算数等）	—	23%	—	5%	—	—	9%	—	—	—	0%	—	3%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	25%	—	28%	—	—	9%	—	—	7%	—	—	24%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	14%	28%	—	—	—	11%	—	16%	—	—	27%	—	—	2001
語学（英語・中国語等）	—	18%	—	0%	—	—	5%	—	—	—	3%	—	2%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	15%	—	13%	—	—	—	5%	—	7%	—	—	10%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	43%	27%	—	—	—	24%	—	21%	—	—	18%	—	—	2001
頭脳開発（右脳トレーニング等）	—	0%	—	0%	—	—	0%	—	—	—	0%	—	0%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	1%	—	2%	—	—	—	0%	—	0%	—	—	2%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	0%	0%	—	—	—	0%	—	0%	—	—	0%	—	—	2001
幼児教室	—	16%	—	0%	—	—	4%	—	—	—	0%	—	0%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	11%	—	9%	—	—	—	5%	—	0%	—	—	0%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	0%	1%	—	—	—	3%	—	5%	—	—	4%	—	—	2001
その他非運動系	—	0%	—	2%	—	—	1%	—	—	—	0%	—	0%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	0%	—	1%	—	—	—	0%	—	0%	—	—	0%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	0%	4%	—	—	—	3%	—	2%	—	—	0%	—	—	2001
水泳	—	39%	—	44%	—	—	43%	—	—	—	41%	—	32%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	28%	—	38%	—	—	—	48%	—	49%	—	—	46%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	37%	36%	—	—	—	45%	—	55%	—	—	33%	—	—	2001
体操	—	7%	—	19%	—	—	13%	—	—	—	24%	—	12%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	36%	—	42%	—	—	—	18%	—	7%	—	—	12%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	14%	23%	—	—	—	5%	—	4%	—	—	8%	—	—	2001
サッカー	—	0%	—	0%	—	—	0%	—	—	—	0%	—	2%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	0%	—	3%	—	—	—	0%	—	0%	—	—	1%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	0%	6%	—	—	—	0%	—	0%	—	—	0%	—	—	2001
武道	—	0%	—	0%	—	—	0%	—	—	—	0%	—	0%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	0%	—	4%	—	—	—	0%	—	4%	—	—	3%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	0%	3%	—	—	—	0%	—	2%	—	—	4%	—	—	2001
ダンス（バレエ・ミュージカル等）	—	14%	—	2%	—	—	3%	—	—	—	0%	—	0%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	19%	—	11%	—	—	—	9%	—	3%	—	—	3%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	6%	16%	—	—	—	13%	—	5%	—	—	7%	—	—	2001
その他（運動系）	—	0%	—	2%	—	—	3%	—	—	—	3%	—	2%	—	—	—	—	—	1982
	—	—	—	—	0%	—	2%	—	—	—	0%	—	3%	—	—	4%	—	—	1996
	—	—	—	—	—	4%	6%	—	—	—	0%	—	2%	—	—	1%	—	—	2001
				年少			年中			年少			年中			年少			

## 6、非運動系習い事の動機・目的（表－6 参照）

非運動系習い事の動機・目的はつぎの3つを上位に挙げることできる。「学校に役立つ」「集中力をつける」「技術を身につける」これらの動機や目的を中心にまとめていきたい。

時系列で見ると、82年は「集中力をつける」が最も多く見られたが、96年、01年には「技術をつける」が「集中力」を上回っている。「学校に役立つ」という動機はどの年でも順位は低い。しかし、「学校に役立つ」「技術を身につける」という動機は01年になるほど増加し、逆に「集中力をつける」は減少していく傾向を示している。性別では、女子は男子より「技術」指向が強く、他方、男子は「集中力」「学校に役立つ」が多い。この女子の技術指向は、習い事のピアノに強く反映されていると言えるであろう。しかし、01年になると男子も「技術」が「集中力」を上回っている。年齢別に見ると、動機の順位はどの調査年度でもほとんど差は見られなかった。

地域別では、どの地域でも「技術」指向が最も強く、時系列で見ても地域による順位の差は特に見られない。しかし、「学校に役立つ」動機は、住宅地域、都市中心部の方が都市周辺部に比べて高い。それに対して都市周辺部は「集団生活に慣れさせる」動機が高く見られた。性別で見ると、住宅地域男子、都市周辺部男子は「技術」、都市中心部男子は「集中力」と大別できよう。96年と比較すると住宅地域男子のみ、「集中力」から「技術」へと移行していた。

「学校に役立つ」といった動機は、都市中心部男子に最も強く、都市周辺部男子は1割にも満たない。また、都市周辺部男子は「集団生活」への動機は他の地域に比べ高かった。女子は、いずれの地域も「技術」指向が見られ、地域による差は見られない。しかし、都市周辺部女子の「学校に役立つ」「集団生活」等の動機については、都市周辺部男子と同様に他の地域に比べて高かった。

年齢別に見ると、地域や年齢に関わらず「技術」志向は強い。しかし、年齢とともに「集中力」の動機が強くなる傾向が見られる。この傾向は、住宅地域より都市中心部や都市周辺部により現れ、住宅地域は「学校に役立つ」という動機が他の地域より強く現れている。

表一 6 非運動系習い事の動機・目的（複数回答）

## 全 体

	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001
健康のため	2%	0%	1%	1%	1%	2%	0%	0%	4%	0%	0%	1%	0%	0%	2%	1982	1996	2001
体力作り	1%	1%	1%	2%	1%	1%	0%	0%	2%	1%	2%	0%	1%	0%	1%	1982	1996	2001
学校に役立つ	9%	19%	26%	11%	28%	32%	7%	14%	22%	—	12%	20%	7%	20%	25%	9%	20%	28%
しつけ	1%	4%	2%	1%	6%	3%	2%	3%	1%	—	0%	3%	2%	3%	1%	1%	6%	2%
集中力をつける	38%	32%	28%	43%	42%	33%	34%	27%	25%	—	40%	21%	38%	27%	28%	39%	35%	30%
忍耐力をつける	6%	7%	8%	6%	12%	11%	6%	5%	6%	—	2%	7%	7%	8%	8%	6%	8%	9%
礼儀をつける	5%	2%	6%	1%	0%	4%	7%	3%	7%	—	2%	3%	2%	2%	4%	6%	2%	9%
集団生活に慣れさせる	10%	11%	11%	8%	9%	12%	11%	12%	10%	—	21%	18%	13%	9%	12%	9%	10%	7%
技術をつける	19%	36%	43%	5%	32%	35%	29%	38%	47%	—	21%	41%	16%	38%	53%	20%	38%	36%
表現力をつける	2%	3%	3%	2%	5%	2%	2%	2%	4%	—	2%	2%	2%	4%	2%	2%	2%	4%
友達が行っている	3%	8%	6%	4%	6%	6%	3%	10%	6%	—	9%	10%	4%	8%	6%	2%	8%	5%
本人が行きたがった	63%	68%	61%	57%	55%	48%	67%	75%	69%	—	60%	54%	51%	66%	54%	66%	71%	69%
その他	10%	6%	4%	12%	5%	5%	8%	6%	3%	—	7%	8%	11%	5%	3%	9%	6%	4%
		全体		男子		女子		年少		年中		年長						

地域別

非運動系習い事の動機・目的 (地域十性)

	住宅地域			都市中心部地域			都市周辺部地域			住宅地域			都市中心部地域			都市周辺部地域						
	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1996		2001	1996	2001
健康のため	3%			0%					2%		3%				0%		0%			0%		1982
		1%		0%			0%		1%		0%				0%		0%	0%		0%		1996
			1%		1%		0%			1%				0%			2%	0%		0%		2001
体力作り	2%			0%					2%		2%				0%		0%			0%		1982
		1%		1%			0%		1%		1%				0%		1%	0%		0%		1996
			2%		0%		0%			3%				1%			0%	0%		0%		2001
学校に役立つ	9%			7%					12%		7%				8%		6%			15%		1982
		20%		22%			14%		26%		15%				39%		13%	15%		13%		1996
			28%		27%		11%		33%		26%				38%		22%	8%		13%		2001
しつけ	1%			4%					0%		1%				4%		3%			0%		1982
		2%		9%			2%		4%		0%				15%		6%	0%		3%		1996
			2%		2%		2%		3%		1%				3%		2%	8%		0%		2001
集中力を付ける	39%			35%					46%		35%				38%		32%			11%		1982
		43%		31%			18%		53%		34%				39%		27%	11%		20%		1996
			23%		34%		27%		22%		23%				48%		28%	42%		22%		2001
忍耐力を付ける	5%			11%					2%		6%				15%		6%			0%		1982
		9%		8%			3%		16%		3%				11%		6%	0%		4%		1996
			7%		9%		7%		7%		8%				15%		6%	17%		3%		2001
礼儀を付ける	3%			9%					0%		5%				4%		13%			0%		1982
		1%		3%			3%		0%		1%				0%		5%	0%		4%		1996
			5%		6%		11%		3%		6%				3%		7%	17%		9%		2001
集団生活に慣れさせる	11%			9%					9%		12%				8%		10%			7%		1982
		10%		17%			4%		5%		14%				17%		17%	7%		3%		1996
			8%		6%		20%		9%		8%				13%		9%	25%		19%		2001
技術を付ける	23%			11%					5%		33%				4%		16%			48%		1982
		29%		42%			38%		27%		32%				30%		48%	48%		35%		1996
			48%		37%		43%		37%		56%				33%		39%	33%		47%		2001
表現力を付ける	3%			0%					4%		2%				0%		0%			4%		1982
		3%		4%			1%		6%		0%				2%		5%	4%		0%		1996
			2%		4%		2%		1%		3%				3%		4%	0%		3%		2001
友達が行っている	3%			4%					5%		2%				0%		6%			7%		1982
		11%		6%			8%		5%		16%				7%		5%	7%		8%		1996
			4%		8%		7%		6%		3%				5%		9%	8%		6%		2001
本人が行きたがった	62%			67%					54%		66%				62%		71%			67%		1982
		70%		59%			77%		56%		83%				48%		64%	67%		81%		1996
			57%		64%		66%		42%		69%				58%		67%	50%		72%		2001
その他	11%			5%					16%		9%				4%		6%			15%		1982
		5%		6%			8%		1%		8%				7%		5%	15%		5%		1996
			3%		4%		9%			3%	2%				5%		3%	17%		6%		2001
	全体						男子			女子			男子			女子						



## 非運動系習い事の動機・目的（地域十年齢）

	住宅地域						都市中心部地域						都市周辺部地域					
	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1996	2001		1996	2001	
健康のため	—	0%	0%	6%	0%	0%	2%	1%	1%	—	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1982
体力作り	—	0%	0%	3%	2%	3%	2%	1%	1%	—	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	1982
学校に役立つ	—	10%	17%	9%	25%	29%	9%	20%	33%	—	14%	24%	0%	21%	24%	9%	23%	1996
しつけ	—	0%	3%	3%	0%	2%	0%	4%	1%	—	0%	4%	0%	6%	0%	5%	12%	2001
集中力をつける	—	48%	14%	41%	34%	29%	39%	47%	22%	—	21%	28%	31%	23%	26%	37%	37%	1982
忍耐力をつける	—	0%	11%	3%	10%	7%	5%	12%	6%	—	7%	0%	15%	10%	8%	9%	6%	1996
礼儀をつける	—	3%	6%	3%	0%	3%	3%	0%	6%	—	0%	0%	0%	2%	3%	12%	5%	2001
集団生活に慣れさせる	—	17%	14%	9%	8%	10%	11%	8%	3%	—	29%	24%	23%	15%	8%	5%	17%	1982
技術をつける	—	14%	49%	22%	28%	59%	23%	36%	38%	—	30%	32%	0%	50%	50%	14%	39%	1996
表現力をつける	—	0%	0%	3%	3%	0%	3%	4%	6%	—	7%	4%	0%	6%	3%	0%	2%	2001
友達が行っている	—	10%	9%	0%	11%	3%	3%	11%	3%	—	7%	12%	15%	6%	11%	0%	5%	1982
本人が行きたがった	—	62%	60%	53%	75%	43%	64%	69%	68%	—	57%	48%	46%	54%	66%	72%	62%	1996
その他	—	10%	0%	13%	3%	3%	11%	4%	4%	—	0%	20%	8%	4%	0%	5%	7%	2001
		年少			年中			年長			年少			年中			年長	

## 7、運動系習い事の動機・目的（表-7参照）

運動系習い事の動機・目的はつぎの4つを上位に挙げることできる。「健康のため」《以下健康と記述》「体力作り」《以下体力と記述》「集団生活に慣れさせる」《以下集団生活と記述》「技術を身につける」《以下技術と記述》。これらの動機や目的を中心にまとめていきたい。

時系列で見ると、どの調査年度においても1位「体力」2位「健康」が5割以上を占め、最も多い。そして「集団生活」「技術」を比較すると、96年3位の「集団生活」は01年にはその順位を「技術」に譲っている。性別では、男子は「健康」よりも「体力」の動機が強いが、女子は男子ほど明確ではなく「健康も、体力も」という動機が窺われる。年齢別に見ると、「健康」や「体力」の順位は上位に定着し、年齢による差は見られない。しかし、「健康」「体力」以外で見ると、「集団生活」の割合は年齢とともに低くなっていく。また、年少児は「健康」「体力」「集団生活」「技術」といった動機すべての割合が、年中や年長児に比べて高い。

地域別では、どの地域でも「体力」「健康」の順位で最も高く、時系列で見ても地域による順位の違いはほとんど見られない。しかし、「体力」「健康」以外で見ると、地域による差は若干生じている。このような傾向は、性別や年齢別においても同様のため、以下「体力」「健康」は除いてまとめたい。

都市中心部は「技術・集団生活重視型」、都市周辺部は「集団生活重視型」、住宅地域は都市中心部ほど技術の割合は高くなく、都市周辺部ほど集団生活の割合は高くもないといった「中間型」と言える。また、「礼儀をつける」という動機が、住宅地域より都市中心部と都市周辺部により強く現れていた。性別では、3位の動機の変化を見ていく。96年から01年には住宅地域男子は「集団生活から技術へ」、都市中心部男子は「技術から集団生活へ」都市周辺部男子は「集団生活から礼儀へ」と変化が見られた。また、都市中心部男子には「礼儀をつける」が年々増加している傾向が見られた。女子を見ると、住宅地域女子は「集団生活から技術へ」の変化が見られた。都市中心部女子と都市周辺部女子には変化は見られず、それぞれ「技術」、「集団生活」が常に3位に定着している。

年齢別に01年を見ると、年齢とともに住宅地域は「集団生活」から「技術」の動機が強くなる傾向が見られる。都市中心部は逆に「技術」から「集団生活」「礼儀」へ、都市周辺部は「集団生活」から「礼儀」へと動機の順位は替わってくる。都市周辺部地域年長児の「礼儀」は他の地域に比べて高い。これは習い事の種類で、都市周辺部男子に「武道」を習っている子どもの割合が高かったことに反映していると言えよう。

表-7 運動系習い事の動機・目的（複数回答）

全体

	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001
健康のため	55%	47%	49%	52%	47%	46%	58%	46%	51%	—	58%	56%	52%	44%	52%	52%	47%	43%
体力作り	62%	67%	63%	70%	80%	75%	53%	50%	50%	—	76%	62%	66%	61%	61%	68%	63%	63%
学校に役立つ	1%	3%	2%	1%	3%	2%	1%	4%	1%	—	4%	0%	0%	3%	2%	3%	1%	3%
しつけ	1%	1%	1%	1%	1%	1%	—	2%	1%	—	0%	2%	2%	0%	1%	2%	2%	1%
集中力をつける	8%	5%	8%	11%	4%	7%	—	6%	9%	—	13%	8%	15%	3%	4%	4%	7%	7%
忍耐力をつける	11%	8%	8%	18%	13%	9%	—	2%	7%	—	7%	10%	10%	5%	12%	11%	8%	8%
礼儀をつける	3%	5%	9%	3%	5%	11%	—	5%	8%	—	11%	12%	2%	4%	4%	4%	6%	11%
集団生活に慣れさせる	17%	20%	16%	17%	21%	17%	—	16%	16%	—	29%	19%	29%	21%	11%	16%	12%	12%
技術をつける	10%	17%	18%	9%	18%	17%	—	17%	19%	—	29%	21%	8%	13%	12%	18%	17%	18%
表現力をつける	1%	0%	1%	0%	0%	0%	—	0%	2%	—	0%	0%	0%	0%	1%	0%	1%	1%
友達が行っている	2%	10%	9%	2%	11%	10%	—	2%	9%	—	7%	8%	3%	11%	2%	10%	6%	13%
本人が行きたがった	21%	42%	44%	19%	33%	39%	—	23%	49%	—	27%	35%	21%	44%	22%	44%	45%	47%
その他	2%	3%	0%	0%	3%	1%	—	3%	0%	—	4%	2%	2%	2%	2%	4%	0%	0%
	全体			男子			女子			年少			年中			年長		

## 地域別

## 運動系習い事の動機・目的 (地域×性)

	住宅地域			都市中心部地域			都市周辺部地域			住宅地域			都市中心部地域			都市周辺部地域					
	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001			
健康のため	55%	41%	41%	55%	50%	53%	53%	41%	41%	58%	41%	45%	50%	52%	49%	59%	48%	56%	54%	53%	65%
体力作り	59%	72%	72%	67%	64%	50%	61%	68%	58%	87%	85%	59%	75%	75%	62%	59%	49%	40%	73%	47%	69%
学校に役立つ	2%	3%	3%	0%	5%	1%	1%	2%	3%	4%	4%	1%	0%	5%	0%	0%	5%	2%	0%	2%	0%
しつけ	2%	1%	1%	0%	1%	0%	2%	2%	1%	2%	1%	3%	0%	0%	0%	0%	2%	0%	2%	2%	8%
集中力をつける	6%	3%	9%	13%	8%	6%	2%	9%	3%	2%	6%	12%	14%	9%	7%	11%	8%	5%	0%	4%	8%
忍耐力をつける	14%	4%	9%	5%	13%	8%	10%	21%	7%	10%	7%	7%	11%	19%	9%	0%	5%	7%	16%	2%	8%
礼儀をつける	3%	2%	5%	2%	8%	14%	5%	3%	2%	3%	2%	4%	4%	7%	18%	0%	8%	11%	5%	4%	19%
集団生活に慣れさせる	18%	20%	10%	13%	18%	24%	21%	18%	21%	19%	21%	12%	14%	22%	31%	11%	13%	18%	20%	23%	8%
技術をつける	12%	14%	19%	5%	24%	20%	14%	11%	12%	14%	18%	21%	4%	28%	22%	7%	19%	18%	13%	15%	8%
表現力をつける	1%	0%	1%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	2%	0%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	2%	0%	0%
友達が行っている	3%	10%	13%	0%	10%	3%	10%	3%	8%	12%	12%	14%	0%	16%	4%	0%	3%	2%	11%	9%	15%
本人が行きたかった	21%	44%	43%	22%	38%	46%	45%	18%	38%	53%	36%	52%	21%	31%	42%	22%	46%	49%	29%	64%	42%
その他	2%	3%	1%	0%	4%	0%	2%	0%	3%	5%	3%	1%	0%	4%	0%	0%	5%	0%	2%	2%	0%
	全体						男子			女子			男子			女子					

## 非運動系習い事の動機・目的（地域・年齢）

	住宅地域						都市中心部地域						都市周辺部地域												
	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1982	1996	2001	1996	2001		1996	2001								
健康のため	—	61%	54%	64%	34%	44%	51%	41%	35%	—	56%	61%	48%	45%	54%	56%	50%	48%	57%	68%	51%	59%	1982	1996	2001
体力作り	—	78%	68%	62%	63%	76%	61%	78%	72%	—	75%	52%	74%	64%	57%	59%	59%	43%	57%	41%	64%	70%	1982	1996	2001
学校に役立つ	—	0%	0%	0%	3%	2%	2%	5%	4%	—	6%	0%	0%	5%	0%	0%	4%	2%	2%	0%	0%	0%	1982	1996	2001
しつけ	—	0%	4%	3%	0%	2%	1%	2%	0%	—	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	5%	3%	4%	1982	1996	2001
集中力をつける	—	9%	11%	13%	3%	10%	3%	2%	8%	—	16%	4%	17%	5%	6%	7%	7%	7%	2%	14%	2%	4%	1982	1996	2001
忍耐力をつける	—	0%	11%	10%	1%	6%	15%	7%	9%	—	13%	9%	9%	9%	11%	4%	15%	5%	7%	9%	11%	7%	1982	1996	2001
礼儀をつける	—	9%	7%	3%	0%	4%	3%	2%	4%	—	13%	17%	0%	9%	9%	4%	4%	17%	5%	5%	5%	22%	1982	1996	2001
集団生活に慣れさせる	—	17%	7%	33%	21%	12%	11%	20%	9%	—	38%	35%	22%	18%	23%	7%	9%	19%	24%	36%	20%	7%	1982	1996	2001
技術をつける	—	26%	14%	13%	15%	18%	13%	10%	22%	—	31%	30%	0%	14%	23%	11%	28%	12%	10%	5%	16%	19%	1982	1996	2001
表現力をつける	—	0%	0%	0%	0%	2%	1%	0%	1%	—	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	0%	0%	2%	0%	1982	1996	2001
友達が行っている	—	4%	14%	5%	10%	8%	2%	10%	15%	—	9%	0%	0%	14%	0%	0%	9%	7%	10%	9%	10%	15%	1982	1996	2001
本人が行きたがった	—	39%	39%	23%	45%	44%	21%	45%	45%	—	19%	26%	17%	41%	46%	26%	44%	57%	48%	45%	43%	37%	1982	1996	2001
その他	—	4%	4%	3%	1%	0%	2%	5%	0%	—	3%	0%	0%	5%	0%	0%	4%	0%	0%	0%	3%	0%	1982	1996	2001
		年少			年中			年長			年少			年中			年長			年中			年長		

#### Ⅳ、まとめ

本研究は、子どもの習い事の現状を把握するために、各項目の全体的傾向を検討し、性、年齢、居住地域と習い事の関連や分布状況を見てきた。習い事に影響を与えたと思われる96年の早期教育ブームの影響も考慮しながら、習い事の全体像をまとめてみたい。

習い事は女子の方が男子より多い。そして、年長になるほど習い事をする子どもは増し、習い事の低年齢化も起こっている。また、住宅地域の子どもが最も習い事をしている。早期教育のブームの影響は都市中心部の男子が一番影響を受けたと思われる。

習い事の実数は年長になるほど増し、性差はあまりない。習い事の実数は、住宅地域、都市中心部、都市周辺部地域の順に多い。週3回以上習い事をしている子どもが多いのも住宅地域、都市中心部、都市周辺部の順になる。週3回以上の都市中心部と都市周辺部の男子は女子より習い事をしている。また、住宅地域は年齢とともに週3回以上習い事する子どもが増す。早期教育のブームの影響は、住宅地域週3回男子が一番影響を受けたと思われる。

習い事を1種類しているのは男子の方が女子より多い。他方、3種類以上の習い事をするのは女子に多い。年齢とともに、3種類以上の習い事をする子どもは増し、種類数が多い子どもは住宅地域、都市中心部、都市周辺部の順になる。早期教育のブームの影響は住宅地域の3種類年長児が一番影響を受けたと思われる。

運動系のみ習っている子どもは男子に多く、非運動系のみ習っている子どもは女子に多い。年齢の上昇とともに両方の習い事をする子どもはますます増える。

習い事の種類の中で最も人気の高いのは、非運動系ではピアノである。ピアノは以前ほどの人気はなくなっているが、女子には根強い人気種目である。男子はピアノから語学、学習塾に移行している。語学は01年から急激に伸びており年少児に特に多く見られる。運動系では水泳の人気が高く、01年からはダンスの人気が女子に高まっている。地域の特色として、住宅地域は語学、周辺地域は習字や武道が挙げられる。

非運動系の動機・目的は、地域に関わらず「技術」指向が強い。しかし、「学校に役立つ」は住宅地域や都市中心部に、都市周辺部は「集団生活」の動機が現れる。

運動系の動機・目的は「体力」「健康」を除くと、都市中心部は「技術・集団生活重視型」、都市周辺部は「集団生活重視型」、住宅地域は都市中心部ほど技術の割合が高くはないが、都市周辺部ほど集団生活の割合も高くはない「中間型」を示す。都市周辺部男子は、「礼儀をつける」が他の地域に比べて高く、年長児ほど現れる。

以上が、習い事をしている子どもの現状の概略である。

今回の基礎調査の結果、性別、年齢、居住地域が習い事のどの部分にどのような形で関与しているのか、大枠については把握できた。しかし、分析にとって改善すべき点や課題も残された。

- 1) 非運動系、運動系の動機をより明確にすること。例えば、非運動系の動機で「技術」と答えた人がいる。しかし、それが非運動系のどの種目を指しているのか分析すること。
- 2) 習い事の種類や動機等の傾向を明確にするには、ある地点での最大公約数の平均値で見ることには限界がある。今後、個々人レベルでの分析方法を考えること。

今回の結果から習い事をしている子どもの概観をイメージすることはできる。今後この習い事と戸外あそびの関連について考えていきたい。

## 参考文献

- 日本子どもを守る会 『子ども白書 2001年版』 草土文化 2001年  
日本子どもを守る会 『子ども白書 1996年版』 草土文化 1996年  
日本子どもを守る会 『子ども白書 1993年版』 草土文化 1993年  
日本子ども家庭総合研究所 『日本子ども資料年鑑第6巻』 1998年  
汐見 稔幸 『このままでいいのか超早期教育』 大月書店 1993年  
日本保育学会 『幼児とけいこごと』 フレーベル館 1986年  
須藤 敏昭 『現代っ子の遊びと生活 - “遊び”からみた子育て論-』 青木書店 1991年